



 大成ラミック株式会社

2018 中期経営計画

平成29年5月15日（月）

目 次

1. 事業内容
2. グループ経営戦略方針
3. 中期3ヶ年損益計画
4. 国内・海外の主な取り組み

当社の使命（ミッション）

**包装の多様性・安全性を支え、
豊かで健やかな暮らしに貢献する**

食 品 安 全 方 針

- 当社は、[※]フードチェーンの一端を担う食品包装メーカーとして、安心と安全の製品を提供し、社会に貢献する。
※ 食品の一次生産から販売に至るまでの食品供給の行程のことをいう。
- 当社は、法令・規制要求事項およびお客様の要求事項を遵守し、仕入先に対しても法令・規制要求事項の遵守を求める。
- 当社は、食品安全方針を全従業員に周知し、各部署の目標達成に向けて具体的に展開する。
- 当社は、食品安全システムの適切性を継続的に見直し、改善を実施する。

包装フィルム:主力製品



「液体・粘体自動充填用フィルム」



用途

- ラーメン
- 納豆
- しょう油
- ソース
- マヨネーズ
- ドレッシング
- 等々

1-4. 事業内容

包装フィルム：分類構成

食 品

売上高の 約90%

非 食 品

売上高の 約10%

※非食品＝洗剤、化粧品など

お 得 意 様
(国 内 外)

約900社

商品アイテム数

約13,000種

1-5. 事業内容

マーケットシェア

出典: 包装資材シェア事典2016

包装用資材
約6兆円

軟包装用資材
約9,500億円

液体充填用
フィルム
約450億円

売上額 9位
経常利益率 1位

売上額割合 28%

トップシェア

1-6. 事業内容

包装機械

包装フィルム



スープ等
原材料

高速自動
充填機
DANGAN



液体小袋



充填速度は、1分間に
500個 (食)

※ラーメンスープ小袋サイズ

一般的に使用されている
標準機の**約2倍**の生産性

国内最速の充填速度

1-7. 事業内容

ビジネスモデル



2. グループ経営戦略方針

国内戦略方針

グループ経営の基盤として、安定成長を目指し、競争優位性のある商品開発や付加価値の高いサービスの構築を進め、顧客満足度の向上・販売領域の拡大に努める。

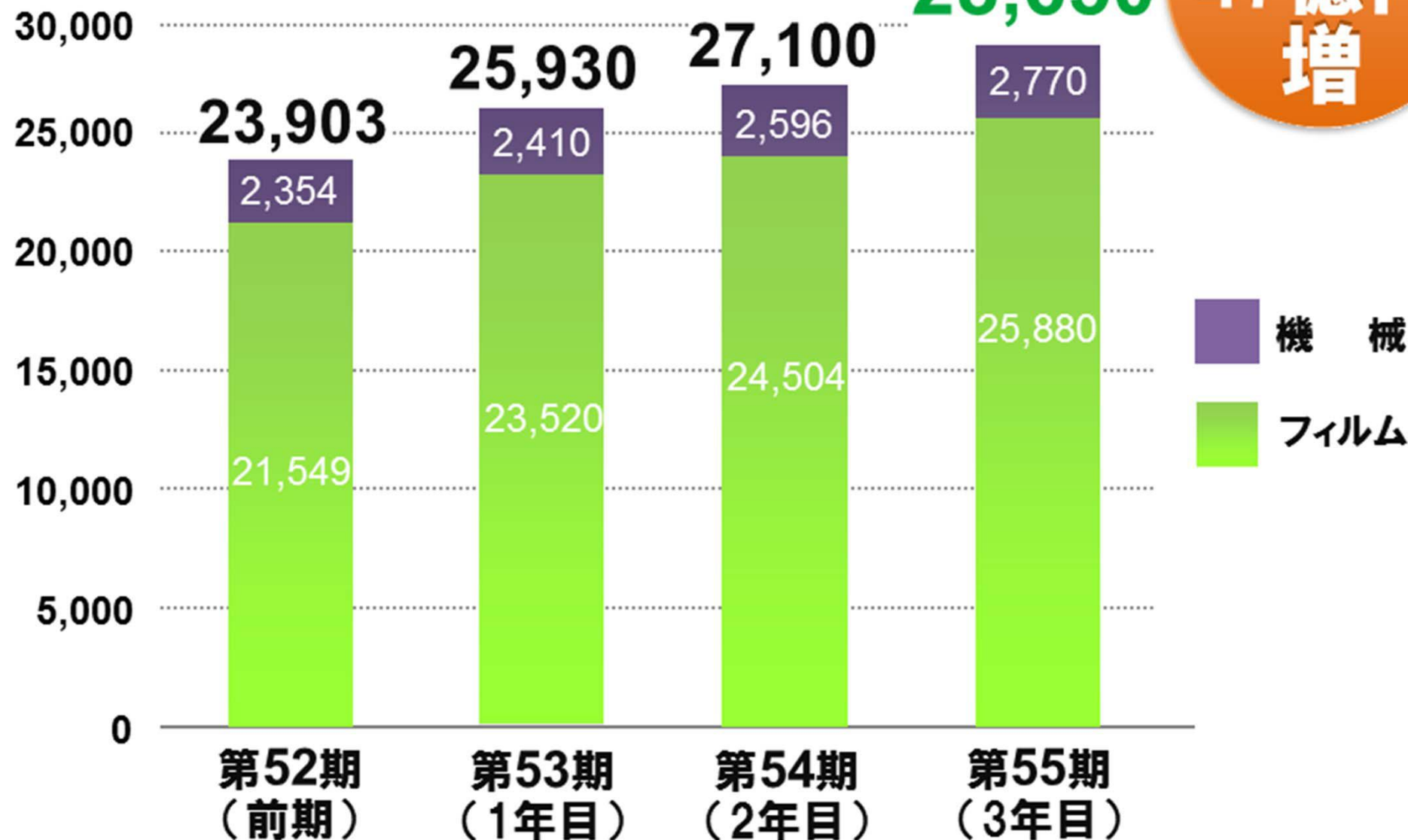
海外戦略方針

新たな成長戦略の柱として位置づけ、スピード感を重視した具体的な戦略を構築し、積極的な拡販を進める。

3-1. 中期3ヵ年損益計画

全体売上高

(百万円) ※ 連結数値

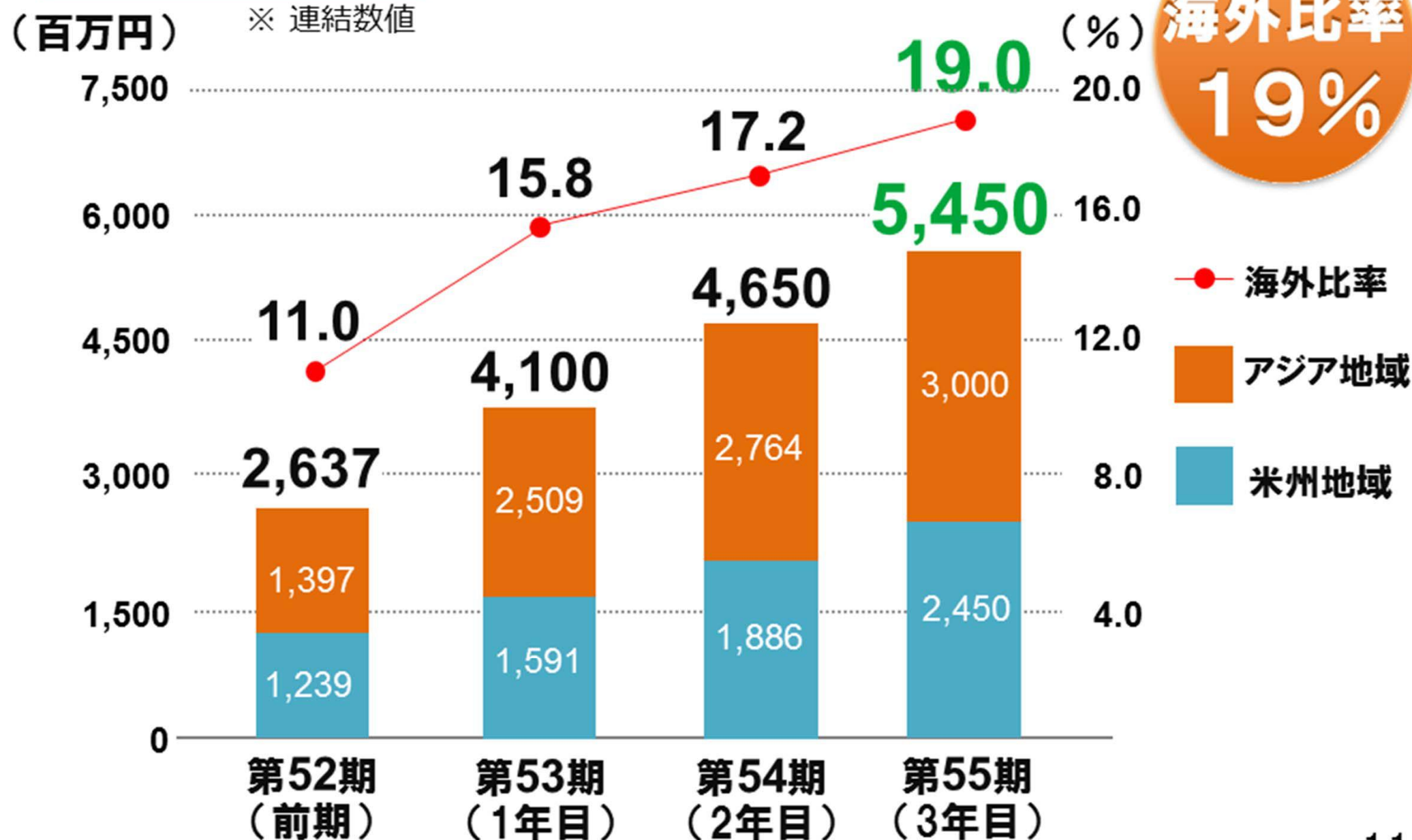


3-2. 中期3ヵ年損益計画

海外売上高

(百万円) ※ 連結数値

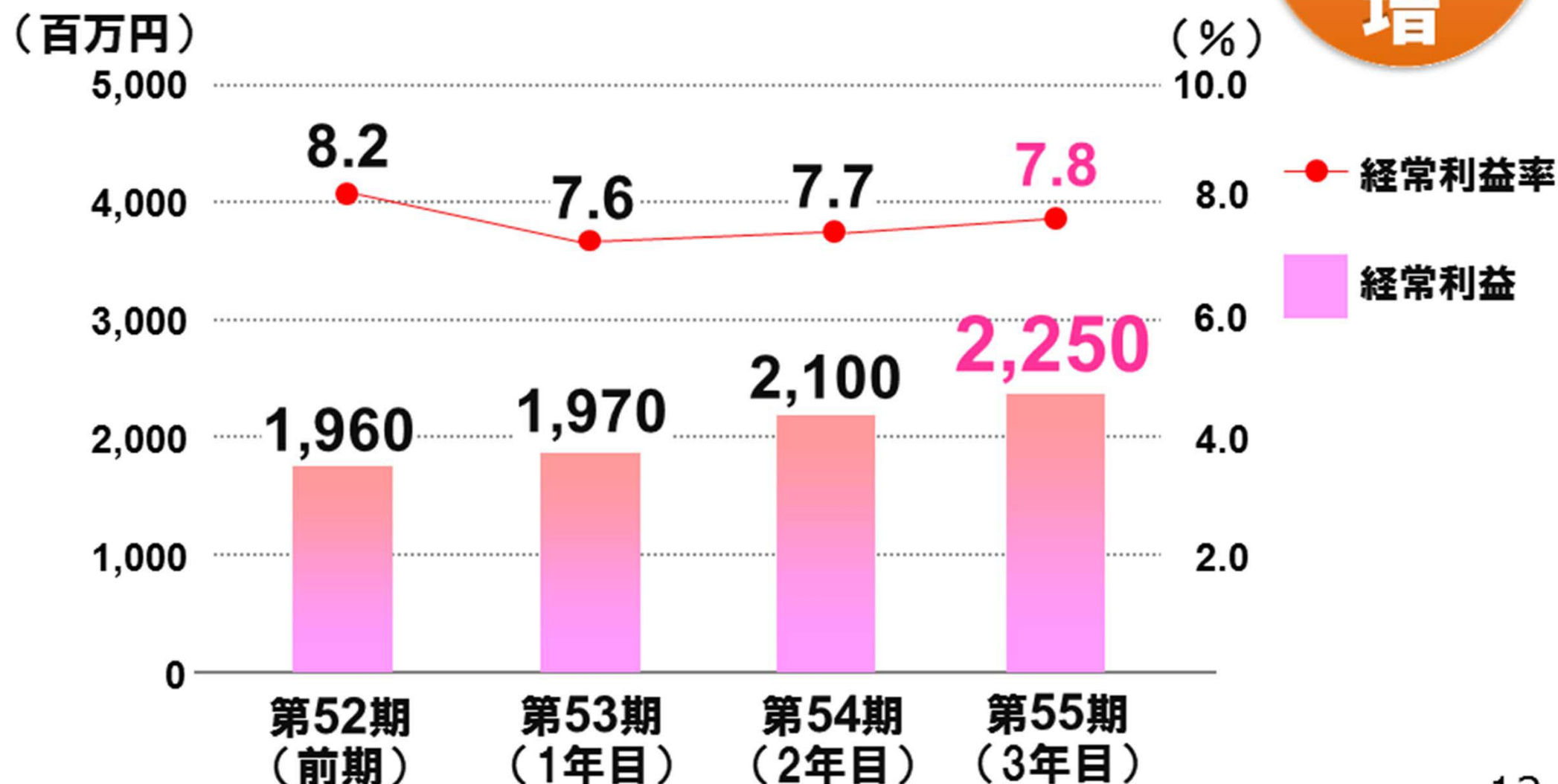
目標
海外比率
19%



3-3. 中期3ヵ年損益計画

経常利益

※ 連結数値

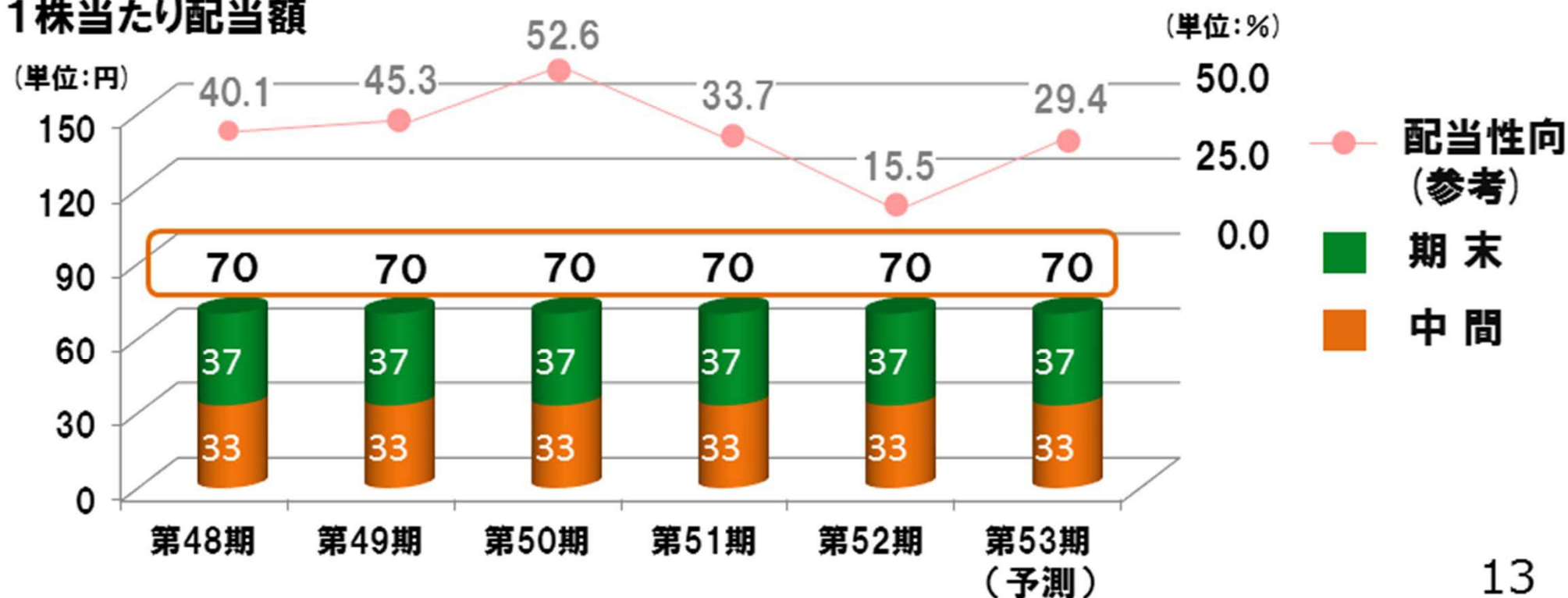


3-4. 中期3ヵ年損益計画

配当政策

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とする。

1株当たり配当額



4-1. 国内の主な取り組み

全てのニーズに応じた 液体充填機械 【DANGAN】の提供

- DANGAN G2 : シリーズ中 最高スペックの
ハイエンドモデル
- DANGAN
ASTRON Mark II : DANGANシリーズの高精度・
高生産性を継承した中価格帯モデル

DANGAN'S STUDIO 創 設

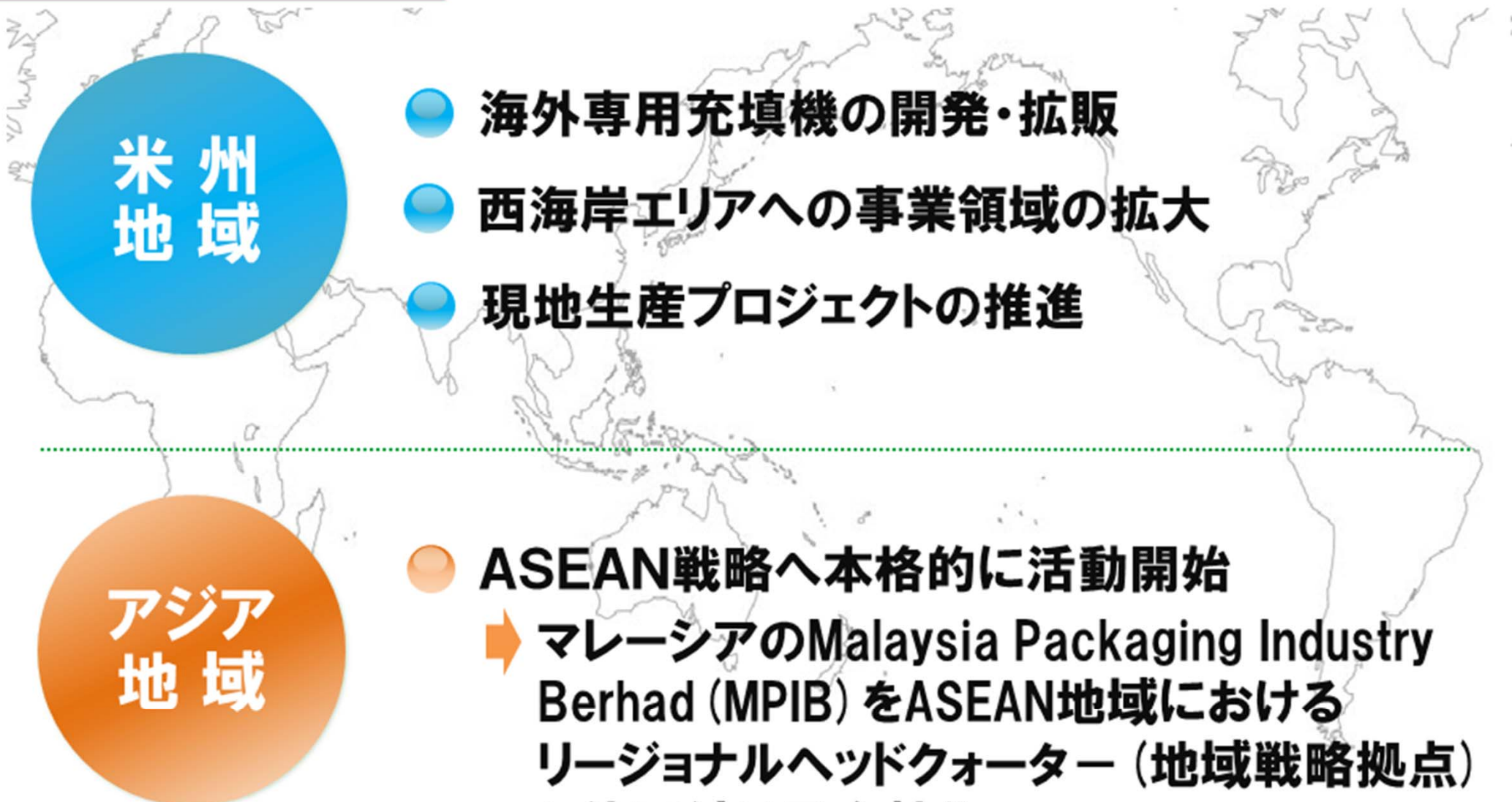
- 液体充填に最適な包装フィルム及び易開封製品の開発
- お客様と一緒に最適解を考える
ラボルーム・デモルームを開設
- オペレーションサポート活動の一環として合宿研修の開催

西日本エリアの強化

- 支店のショールーム・デモルーム化 : 名古屋、福岡
- メンテナンス拠点の新設 : 岡山 DANGAN'S STUDIO

4-2. 海外の主な取り組み

地域別活動



米州地域

- 海外専用充填機の開発・拡販
- 西海岸エリアへの事業領域の拡大
- 現地生産プロジェクトの推進

アジア地域

- ASEAN戦略へ本格的に活動開始
 - ➡ マレーシアのMalaysia Packaging Industry Berhad (MPIB) をASEAN地域におけるリージョナルヘッドクォーター（地域戦略拠点）と位置付け子会社化

4-3. 全社的な取り組み

品質活動

● フードディフェンス（食品防御）対応として FSSC22000の取得活動

※FSSC22000： The Foundation of Food Safety Certification（食品安全認証財団）

概要：国際規格であるISO22000（食品安全マネジメントシステム）に、
フードディフェンス（食品防御）強化を盛り込んだシステム

環境活動

※ Volatile Organic Compounds：揮発性有機化合物

● 県条例等に対応した VOC処理装置 を第1～3工場全てに導入

● 新工場（第2工場）へ 太陽光発電設備 を導入

● CO₂ 排出量の削減活動として モーダルシフト（鉄道貨物輸送） への取り組みを実施

VOC処理装置



太陽光発電設備



エコレールマークの認定



※ 平成27年2月に国土交通省より認定

つつむを、未来へ



大成ラミック株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。